

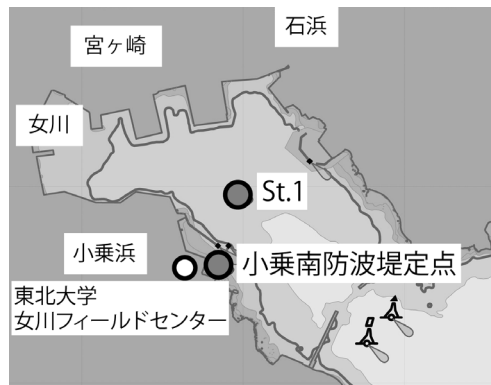
## 週刊 女川湾海況速報 (No.72)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

12月9日から13日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で下降し、12.2～12.7℃の範囲にあった。塩分は表層(0m)で上昇したが、底層(6m)ではやや下降し、32.0～33.2の範囲にあった。経時的に水温は表層で11日に、底層では10-11日に上昇。塩分については表層で10-11日に上昇したのに対して、底層では期間を通じてほぼ一定で推移。水温と塩分の上昇は、一時的な気温の上昇および港外水の侵入の影響と推定。

水深 [m]	12月9日 (月)	12月10日 (火)	12月11日 (水)	12月12日 (木)	12月13日 (金)
0	12.6 (32.0)	12.4 (33.0)	12.7 (33.2)	12.4 (33.1)	12.2 (33.2)
6	12.5 (33.1)	12.6 (33.1)	12.7 (33.2)	12.5 (33.2)	12.2 (33.2)

水温の単位は℃。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的に全層で11日まで上昇し、12日には一旦下降。表層では11日に、底層では10日以降に高い値を示した。(単位はFTU)

水深 [m]	12月9日 (月)	12月10日 (火)	12月11日 (水)	12月12日 (木)	12月13日 (金)
0	0.4	0.6	2.6	0.9	1.6
6	0.4	1.3	1.5	1.4	1.5

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、7～9mg/l 台を維持。経時的には全層で期間を通じて下降傾向にあり、10日以降は7mg/l 台まで下降。

水深 [m]	12月9日 (月)	12月10日 (火)	12月11日 (水)	12月12日 (木)	12月13日 (金)
0	9.2	7.9	7.6	7.5	7.6
6	8.4	7.8	7.8	7.5	7.4

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 12.7℃、33.2 であり、鉛直的に一定。濁度は 1.2～15.3FTU の範囲にあり、表層で最大。溶存酸素は 7.6～7.8mg/l の範囲にあり、表層と底層(20m)で比較的低い値を示した。先週と比較して、全層で溶存酸素が下降傾向にあり、酸素飽和度は 84～92%を示した。

12月11日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	12.7	33.2	15.3	7.6
5	12.7	33.2	3.1	7.8
10	12.7	33.2	1.4	7.7
15	12.7	33.2	1.2	7.7
20	12.7	33.2	1.4	7.6

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。